

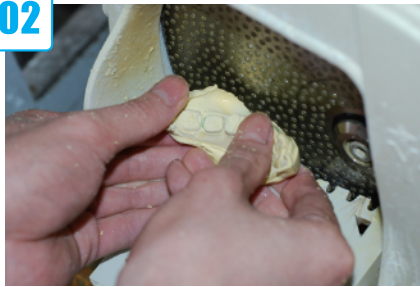
① 模型作り

01



この状態で気泡、荒れがないかを確認。

02



バリと咬合平面を考慮トリーマーで削る。

03



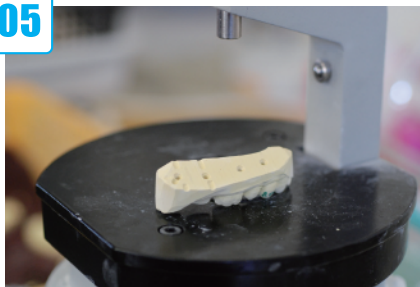
トリーマーでカットした状態。

06



ダウエルピンを立て、分離剤を塗る。

05



あけた穴にダウエルピンを立てていく。

04



支台歯の中心にダウエルピンが立つように穴をあける。

07



台となる部分の石膏を練る。

08



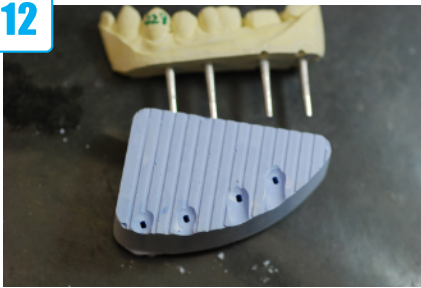
真空器にて気泡をぬく。

09



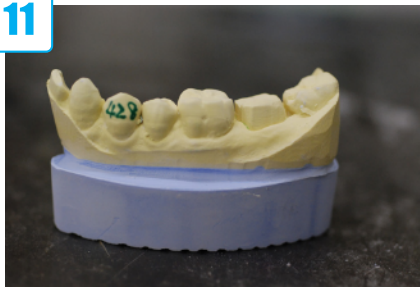
回転防止溝にしっかり石膏をいれる。

12



ダウエルピンをエンジンにて出しておく。

11



印象模型と台となる石膏の境を明確にする。

10



台となる石膏とあわせる。

13



セパレート（支台歯部分をノコギリにて分割する）

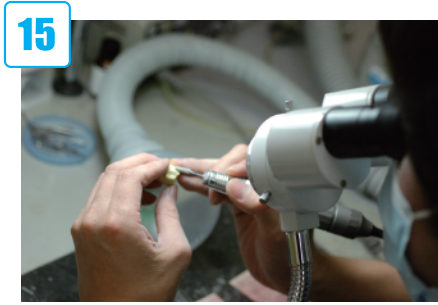
14



支台歯のマージン、隣在歯のコンタクトを削らないように。

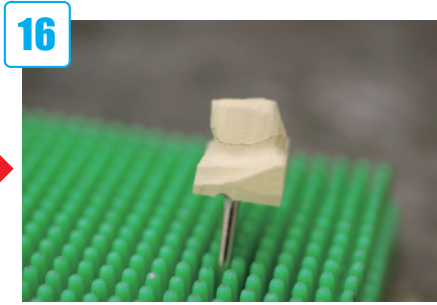
② トリミング・咬合器装着

K.D.A Laboratory



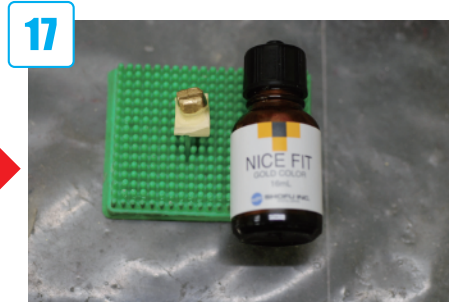
15

マイクروسコープにて慎重にマージンラインを出す。



16

マージンラインを明確にし、ラインを引く。



17

支台歯にスペーサーを塗る。セット時のセメントのスペース。



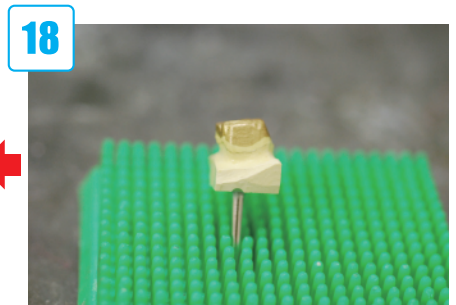
20

咬合平面を考え、咬合器に装着。



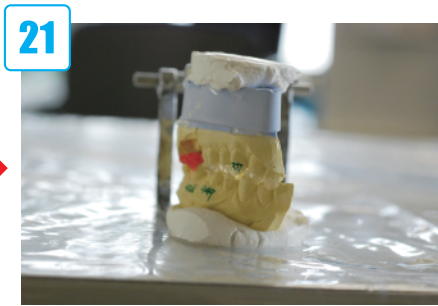
19

対合歯とバイトさせる。



18

乾燥させる。



21

正面から

③ スプル・ワックス up

K.D.A Laboratory



22

ワックス、分離剤、インスルメントなどを使用する。



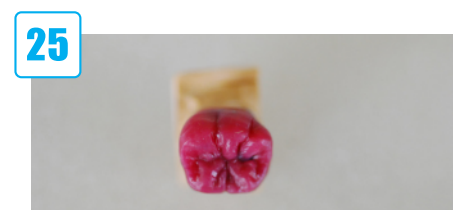
23

ワックス up にて解剖学的に回復していく。



24

ワックス up も咬合面、マージンをマイクروسコープで確認しながら。



25

スプルを立て、円錐台へ

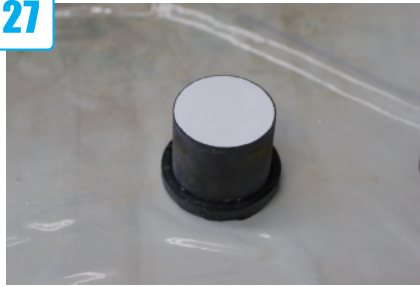
④ 埋没・ワックス焼却・キャスト・取り出し

26



気泡が入らないように慎重に

27



この状態で効果を待つ。

28



ワックスを焼却。

31



埋没材から取り出す。

30



キャスト後。しばらく時間をおく。

29



焼却したワックスに、キャスト機にて金属を流し込む。

32



埋没材をサンドブラスターにて完全に取り除く。

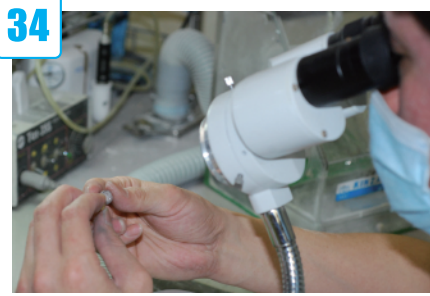
33



酸化膜を取り除くため、パラクリーン入れて少し待つ。

⑤ 適合・研磨

K.D.A Laboratory



34
マイクروسコープにて気泡、バリ、マー ジンを確認しながら適合。



35
コンタクト調整。きつくならない、緩くな らない様に慎重に。



36
咬合調整。高くならない、低くならない様 にコンタクトポイントを慎重に調整。



39
ルーージュにてつや出し。

独自の
研磨方法にて
画像無し



38
全体的な研磨をしていく。



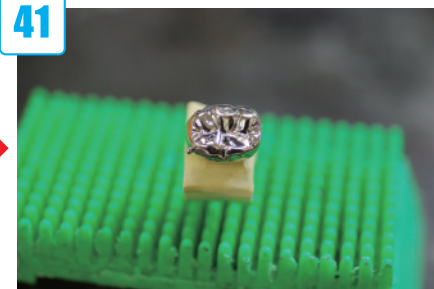
37
形態修正をしながら小窩裂溝まで研磨。

⑤ 洗浄・完成

K.D.A Laboratory



40
超音波洗浄。



41
完成



42
咬合面 最終咬合確認 完成、頬側面

